

調布大好き!

本号は12月議会



みみチャンネル

NO.35

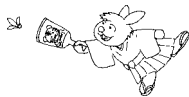
元気派市民とみとこの会 調布市深大寺北町1-31-1 Tel&Fax 0424-88-4137
http://www.ops.dti.ne.jp/genkiha/ Eメール genkiha@ops.dti.ne.jp

2002.1.10 発行

厳しい時代こそ情報公開とフェアプロセスを大切に、調布のまちづくりを進めよう!

大河みとこは市民が安心して暮らせる「調布」のまちづくりのために活動していきます

みとこの今年もがんばるぞ



1. 調布市の台所を徹底チェック

決算早期化は実現。市民の声が予算に反映されたか、税金の使われ方はどうか、市民の視点からチェックします。

2. 市民本位のまちづくり、市民参加・参画の推進

元気派市民の会が主張し続けてきた市民参加、参画。市民自治基本条例が検討される今、一層の促進に努めます。

3. 市民にわかりやすい市政実現

国領再開発事業など難しい事業こそ、政策立案過程からの説明と偏りのない情報提供が必要。「情報なくして参加なし」わかりやすい行政情報を求めていきます。

4. 調布の教育への提案

子ども政策は市政の大きな要です。今年度から実施される新教育課程も注意深く見守りながら、市全体の重要課題と考えて取り組んでいきます。

このまちで育つ子ども達の未来のために今
国内外において暗い話題ばかりですが、目線を子ども達に向けてみれば、笑顔いっぱい姿が、生きていることの素晴らしさを教えてくれます。まちづくりの主役は私たち市民。私たちにはこのまちで育つ子ども達の未来に責任があります。共に努力して現在を改善し未来をより良くするのは私たちです。2002年は今年、私の年。市政と暮らしをつなぐ架け橋として今年も元気に駆けまわります。
調布市議会議員 大河みとこ



主なニュース

元気派市民とみとこの会決算報告	8
一般質問・予算に決算審議を生かすには	6・7
教育について語る「PTAって?」	4・5
オンブズマン条例が提案され可決される	2

アンケートとカンパのお願い

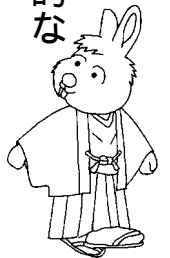
元気派市民とみとこの会は、市民による調布のまちづくりを目指して1995年4月に無所属市民派の代表として大河みとこを議会に送り出しました。皆様のご支援のもと7年を経て会報は今号で35号を数えますが、会の活動を見つめ直しさらに前進するためにご意見を伺いたくアンケート用紙を同封させていただきました。より多くの方に会報をお読みいただけるように、市政報告や学習の場をより多く持てるように今後も努めて参ります。

会の活動趣旨をご理解頂き、アンケートとカンパへのご協力をいただければ幸いです(同封の振り込み用紙をご利用ください)。どうぞよろしくお願い致します。

元気派市民とみとこの会 代表 菅野マスエ

二小の学校給食試食会の帰りがけに「ふるさと」の合唱を聴かせてくれた。心温まる時間をありがと。あの日ももらった手作りの名札は控え室の机に飾っています。(みとこ)

みとこの議会レポート



市民の行政に関する苦情に対し、総合的なオンブズマン条例可決する！

平成十三年調布市議会
第四回定例会
十二月七日～十九日(十三日間)

調布市オンブズマン条例

満場一致で可決

元気派市民の会・賛成

元気派の意見



現在は福祉オンブズマン制度があるのみ。行政全般に対する苦情を公正かつ中立的な立場で処理し、市政改善への提言につながるオンブズマン条例設置は、開かれた市政への大きな一歩と考え賛成。

調布市職員再任用に関する条例

満場一致で可決

元気派市民の会・賛成

元気派の質疑



不況のなかで、行財政改革の効率性からも、官のみに再雇用を保证す

る基本的な考え方は何か。今回の提案は、意欲ある市民を積極的に行政に雇用する新たな制度への一端と理解していいか質疑。再任用は経験豊富な市職員の能力有効活用がねらい。厳しい雇用状況下、新たに市民職員を雇用する制度を創出したい」との答弁を得た。

サービス後退につながる都立図書館の蔵書的大幅削減をやめ、都立図書館再編成計画の見直しを求める意見書

満場一致で可決

元気派市民の会・賛成

元気派の意見



市民にとって図書館は住民自治を支える大きな柱。充実に重要な問題で都の再編計画はサービスの後退。多摩各市の図書館が築いてきた図書館ネットワークも壊しかねない問題と考え、計画の見直しに賛成。

保健、衛生事業の後退を招く保健所統廃合に反対する意見書

満場一致で可決

元気派市民の会・賛成

元気派の意見



狛江調布保健所が府中小金井保健所に再編されれば、市民にとって関連したサービスが利用しにくくなるのは明らか。高齢化時代に必要な健康政策に、保健・衛生事業の充実を求める立場をとるこの意見書に賛成。

国分寺崖線を守るためにマンションの適正規模を求める陳情

両陳情共に満場一致で趣旨採択

元気派市民の会・賛成

元気派の意見



若葉町の国分寺崖線の傾斜面を利用した地下マンション計画は、道幅の狭い住宅地で建築認可が出ないと思われるような場所。現状は法の隙間を抜け認可されてしまう。安全面、景観面からもこれらの計画の見直しが図られるべきだと陳情の趣旨に賛成。

文教委員会報告

学校給食現地調査

学校給食を第二小学校5年生と一緒に試食。第二小は調理室のドライシステム化、強化磁器食器導入、生ゴミ処理装置設置など実施されている。当日のメニューは子ども達の要望から、おろしじんだ(三平汁に似ている)、桜いなり(校庭の桜の塩漬けを利用)、野菜の海苔和え・キウイフルーツ。会食後栄養士、調理員さんと意見交流した。生活習慣病に対し毎月健康相談日を設けたり、アレルギーを持つ子どもへの個別対応もしているとの事。子ども達の楽しみでもある給食は心の豊かさにつながる。「食文化を大事にした」と改めて実感した。



手作りの名札の置かれたテーブルでおいしく頂きました。

文教委員会視察報告 愛知県瀬戸市、兵庫県西宮市、宝塚市を行政視察

平成13年10月23日～25日

瀬戸市：エコスクールについて

視察した瀬戸市立品野台小学校は平成11年に移転開校した地域開放型の学校（200名7クラス）環境を考慮した学校施設（エコスクール）整備が図られている。深夜電力利用の床暖房、雨水貯留槽、太陽光発電などが特徴。教室はオープンで横にワークスペースがある。校地にはピオトープ（せせらぎ）自前の水田もありトンボが飛び交っているのが見えた。どの教室の授業も見渡せる空間は「教わるから学ぶへの転換」からの発想だそうだが、子ども達は落ち着いて授業を受けていた。窯業室では地域の方が生き生き陶芸に励んでいる。学校に対する考え方が変われば建物が変わり、学校の内容が変わっていくという見本を見た気がした。

西宮市：学校図書館について

西宮市は「学校図書館は授業で活用されなければならない」という理念で実践を積み重ね、平成10年に「学校図書館情報化・活性化推進モデル地域事業」の指定を受け「教育改革の中核としての役割を担う学校図書館づくり」を推進している。視察した高須南小学校図書館は5教室分の広さで蔵書数約15,000冊。貸し出し・返却・検索、そして調べ学習にもパソコンが活用されている。図書館専任教員を確保しているが、12年度は震災復興担当教員（加配教員）が教育相談と図書館教育を担当。一方保護者はボランティアグループを組織し交替で月～金の1時～3時半の間、貸し出し・整理活動等を行い「いつも人のいる図書館」を実現。学校図書館が機能すると、子どもが生き生きとしてくることを実感する視察になった。



探している本は見つかるかしら・・・。

宝塚：男女共同参画の推進について女性センターを中心に

宝塚市立女性センター・エル

宝塚市では、女性政策推進のために宝塚男女共同参画推進審議会を設置。3年間の検討後、場の提供、相談事業、ネットワークづくり等をコンセプトにした女性センターが駅前ビル4階に開所した。9時から21時まで開館。休館日は年末年始・第二日曜日。誰でも気軽に利用できるオープンスペースや情報・図書館コーナー、カウンセリングルーム、プレイルーム等々を併設。公設公営だが、公募採用の市民が常時3人2年間活動推進専門員で市民と行政の橋渡し役として活躍。調布で検討されている女性センターにも十分な市民参画が必要だと実感した。



いつでも、だれでも利用できるオープンスペース。

宝塚市立教育総合センター（視聴覚センター・青少年センター併設）

教育関係職員を対象とした各種研修の総合的体系的な企画・実施、教育に関する調査・研究、教育関係職員の自主的な研究に関する支援を行っている施設。視聴覚教育では主体的学習支援としてパソコンを活用、ソフトウェアを自由に使う権利のスクールアグリメントの導入で最新バージョンを利用でき先生にも好評のようだ。センター内の学習スペース、図書館などの充実ぶりを見ると、早くから教育を重点施策にしてきたことが伺える。「元気の出る教育を目指している」とのことだったが、人づくりには十分な研修など質を担保していくことが欠かれないことが良くわかった。

一日だけの長野のお正月は子ども達の獅子舞、雪の舞、そして星の輝きで始まりました。母の野沢菜漬けを食し、こんな寒さの中で育った自分の子どもの頃に思いをさせました。（みとこ）

教育について語ろう第4弾「教育・学校に関わる組織について」 学校・家庭・地域のより良い連携のために

平成13年1月25日付けで文部科学省が発表した「21世紀教育新生プラン」には、「学校、家庭、地域の新生～学校が良くなる、教育が変わる」と副題が添えられています。また東京都は“保護者・地域の声を学校へ”という目的で平成11年度から「学校運営連絡協議会」という新たな組織の設置を進め、調布市の公立学校でもすでにほぼ設置されています。このように今、学校・家庭（保護者）・地域の3者の連携が、あらためてクローズアップされているのはなぜでしょうか。皆さんはどのようにお考えになりますか。

理由 今までの3者の連携が行われたことがなく、必要になったから。

理由 以前に機能していたものがいつのまにか風化し、再生が必要になったから。

理由 昔からのあり方が時代に見合わなくなり、3者の関係の見直しが必要になったから。

この他にも理由は考えられるでしょうが、そこからまた新たな疑問が湧いてきます。例えば「なぜ今必要になったか」「なぜ風化してしまったか」「どこが時代に合わなくなったのか」と…。

教育改革という名のもと、～プラン、～提案、～構想、～会と耳新しい言葉が生まれています。新しいものが必要になったとしたら、旧来の何にどのような不都合があったのかをまず確認すべきでしょう。それが新しいものを実践できるものにするための大切な過程だからです。先人と自分たちの足跡にそして現状に向き合ってみませんか、子ども達のために。今回からシリーズで取り上げていきます。皆様のお声もお待ちしています。

PTAって何だろう Part 1

教育・学校に関わる組織の中で、最も長きにわたり身近な存在「PTA」。当たり前になりすぎて、その何たるかが以外にわからないのでは。これから数回にわたり「PTA」に目を向けてみましょう。



PTA (Parent Teacher Association) の生い立ち

PTAは米国生まれ

PTAは直訳すれば“両親と先生の団体”で、アメリカ合衆国で誕生しました。1890年代後半、児童福祉のための母親運動に始まり、その後父親の参加、続いて先生との連携という過程を経ながら、子どもを取り巻く社会の広範囲な諸問題に対して活動を展開しました。1907年には議会(National Congress…日本の国会にあたる)に担当省ができるほど影響力のある組織に成長し、教育のみならず人権や環境など子どもにかかわるすべての問題に取り組みながら現在に至っています。

日本上陸 民主主義教育推進の役割を担って

戦後、日本社会の民主化を図るために有効であるとして、アメリカはPTAの設立と普及に力を注ぎました。GHQ(連合国軍最高司令官総司令部)がその具体的推進の指揮にあたりました。

1946年 3月 米国教育使節団が来日、4月にその報告書が発表された。報告書には“父母(両親)と先生(教師)の会”(PTAという言葉はまだ使用されていない)の役割の重要性と設置・支援の必要性が述べられている。

10月 GHQが米PTA資料をもとに日本にPTAを結成するように指導し、これを受けて研究機関として“父母と先生の会委員会”が設置された。

「いろいろ話そうよ」の会
昨年5月に続き、教育(学校・社会など)について自由に話し合う場を企画しました。茶を飲みながら、ゆっくりひと時を過ごさう。様々な視点からのお話が何れれば何れでも構いません。参加費、申込など不要です。おもしろいのでお気軽にいらしてください。
日時 2月17日(日)午後1時半～
場所 たづくり10階 調理実習室・談話室
*12月議会の報告もいたします。



我が家の娘も成人式を迎えます。当日は私の二十歳の時の着物で参加する予定。何かと話題の成人式、調布の未来を担う新成人に期待しています。(みとこ)

みとこの一般質問



決算の早期化を市民本位の予算にどう結びつけるか

元気派市民の会が平成八年より提案し続けた決算早期化の実現は、基本構想の「みんながつくる」という目標を財政運営面から努力し実行したと評価私たちが考える構造改革は「行政の論理」から「市民の論理」への転換。決算審議が九月議会になり、ようやく市民の声が次年度予算に反映できる環境が整った。今が市民本位の新たな予算編成のしくみとプロセスの構築にとりかかる好機 私はこれからの行政は、みんながつくる「上でベースとなる」といふように考える」というスタンスなくして新しい形の公共の創造はありえないと認識。そこで「決算の早期化」を市民本位の予算にどう結びつけるかとい



つ視点から質問した。

早期化された決算情報を次年度予算にどのように活用するのか、市長の基本的な考え方を問う

市長には財政執行した結果である決算を住民の代表である議員に提出する義務があり、住民代表である議会には決算に対する認定の権限が与えられている。予算に対する方針、決算のプロセスは昨年と今年ではどう違うのか。また昨年度の決算をどのように分析・評価し、予算に活用するのか。今の予算編成プロセスは市民の声を反映するものになっているのか。決算の早期化は手段、どのような効果を市長は期待しているのか。

【市長答弁】 行財政運営が厳しい折、事業を的確に評価、見直し、施策や予算への反映が求められていると受けとめ、庁内に指示。議会の意見も予算に生かせること認識。九月になった決算の効果も最大限活かして施策展開を図っていく。

決算の認定時に課題が提起された国領再開発事業は、次年度予算に向けてどう改善が図られるのか

国領再開発事業について四割強の

議員が不認定という結論に対し市長の政治的、道義的責任は免れ得ないのではないかと。担当部長はその課題をどう受け止め、予算編成に向けてどのように考えているのか。

【市長答弁】 不認定の件は指摘を受け止め、今後には生かす。

国領南口再開発ビル「ココスクエア調布」のビル駐車場を市が取得する理由は何か

国領南口再開発事業は、どこまでを財政支援の限界と考えているのか。基本構想の財政フレームは何だったのか。都市整備推進連絡調整協議会において示された無利子融資制度活用と再開発組合の早期解散に向けてのビル駐車場取得の明確な理由は何か。無利子融資制度では国と市が半々に負担、国は市に貸し付けをするのであり、返済計画など市の責任が問われる制度。「市民が主役のまちづくり」の推進には「相互の情報共有」が重要。市民へのわかりやすいタイムリーな情報提供を要望する。市が出資した「ココスクエア調布」の管理法人は、市財政に影響を及ぼす可能性のある団体として監理団体に指

定し市が経営把握・指導管理を行い、自律的経営を促進すべき。

【都市整備部長答弁】 来年度は、基本計画に基づき、計画的執行に努めたい。中心市街地活性化法に基づく補助制度活用、市が駐車場を取得。商業保留床については無利子融資制度を活用して管理法人が取得すると方向性を示した。

【政策室長答弁】 国領南地区は、組合の解散に向けて国や都と、無利子融資や補助金、時期、金額などについて調整・協議中。必要となる一般財源額は未確定。長期的視点から検討せざるを得ない。(株)ココスクエア調布は、本市出資額六千万円の商法人だが人的支援や市の施設管理委託していないので、監理団体にも関与団体にも該当しない。しかし、当面、経営状況を注視すべきと認識、関与団体に指定した。

国領北口再開発事業の次年度に向けての基本的な姿勢を問う

公共床を利用するのは市民。「まず施設ありき」では困る。「何のために」というコンセプトのない事業は許されないはず。市民との協働作業が何よりも必要な施設だ。再開発事業を理解しているはずの地域住民の方々

から、大幅見直しを求める要望書が提出されている。地域住民への情報提供や説明責任は果たされたのか。

【都市整備部長答弁】要望書提出者との懇談会を開催し、事業の早期推進と国領のまちの発展に理解をいただく。

【政策室長答弁】施設整備での市民との協働作業は、時機をとらえ対応したい。事業の進行については、必要に応じ関連部署と調整を行っている。

事務事業評価制度の結果をどう予算編成に活用するか

十二年度事務事業評価は市のホームページで公開されているが、これに対する市民の反応はどうか。予算編成に活用するための工夫をしているか。私は事務事業評価には第一に行政内部の、第二に市民とのコミュニケーションツールとしての意味があると考ええる。まずは行政内資料として財政担当者や事業課が同じ評価基準で事業改善のために活用することが求められ、次に政策や施策の視点から評価する方向へと進むべきで、経常経費削減のためだけの手段ではないと考える。その点をいかに捉えているのか。

【政策室長答弁】公開後市民から目立った反響は無い。今後より分かりやすい公表に努める。来年度から評価結果を踏まえ見直し、予算編成に反映させるしくみの構築を重視し検討する。

【財務部長答弁】各課の予算見積りでは評価を踏まえ調整中。財政課と担当課との予算ヒアリング等においては、事業の目標達成度やコストの妥当性などの評価結果を踏まえて査定している。

予算編成に向けて入札制度の改善の方向性は

入札の情報公開に関する市の基本的な考え方、電子入札制度導入の具体的な目標年度、入札の今後の課題と改善の方向性について問う。行政の透明性を高めるため説明責任とフェアプロセスが大事。入札の公開は新たな参入を促し競争性を高める。行政努力での落札率低下は財源確保に、入札のしくみの見直しは契約段階での効率化につながる。市の目標年度はいつか。

【総務部長答弁】「調布市入札制度等検討委員会」を設置、試行実施も含め三月には中間報告し制度拡充に努める。近

い将来、基本計画の電子市役所推進の一つである電子調達（入札）導入との整合を図り展開に努める。

再質問・再々質問

再開発事業の一番の課題は何か？市の財政が厳しい今なぜ再開発ビル駐車場を取得する必要があるのか市民に丁寧な説明を。また再開発ビルの管理法人は市の財政支援を必要とするのだから当初から監理団体にすべきでは？電子入札の導入の目標年度は？また物品契約も含むのか？

【関係室長・部長答弁】再開発事業は単年度では完結しないものであり、今後は地域住民への情報公開を進める。車で行ける物販店は集客できる。地域の活性化と事業完了のために駐車場を取得する。監理団体の件は、今は必要ないが変化があれば検討。電子入札は十五年度を目標。物品契約も含む。近隣市との共同開発で経費節減を図る。

みとこのまとめ

長期にわたる不況、右肩上がりの時代に想定された事業のひずみが今市民や職員に重くのしかかっている

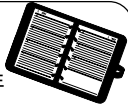
ことは市民も理解している。だからこそ情報を共有し信頼関係を作り、市民の素朴な疑問に対してマイナスイ面を含めて誠実に答えられる「市民が真ん中」の行政運営を強く要望。本当に行政が行うべき事業は何かを市民感覚で判断するよう最後に強調し質問を終えた。

市議会傍聴記

子供の頃、学校の授業で社会科見学というのがあったが、実はオトナも社会科見学が必要なのではないか、と日頃思っている。ゴミ処理場、病院、裁判所、介護、流通業の裏方、建設現場、工場、など私たちの暮らしを支えているインフラの現場を生で見る、というのはとてもエキサイティングな体験に思える。議会の傍聴もこんなオトナの社会科見学のひとつであり、しかもその手続きは他のものと比べてとても簡単である。思いついたらその日でも傍聴することができる。市庁舎の4階にある議会の受付で氏名・住所を記入して傍聴名札をもらおうと議場に案内される。傍聴者の数は意外に少ないとも意外に多いとも言える。傍聴したのは大河議員による一般質問と市長と担当部長による答弁だった。国会でお馴染みの光景であるが、生であることと、テーマが身近であることから1時間超という時間も飽きることなくあっという間に終わった。大河議員のあとはカラスの生態についてのやけに詳しい報告となった。社会見学としてはこれもまた興味深いテーマであったが、時間があまりなかったので、次回の機会に回し短い議会傍聴を終えた。(布田在住 川添健治)

厳しい話題の多い昨年は心休まることのない一年でした。どの人の命も等しく尊い。そんな当たり前のことを共通認識として世界平和を願うものです。(みとこ)

みとこの活動日誌



- 10月 2 社会福祉協議会 30周年
- 6 布田小 20周年記念式典
- 6-7 地方議員行財政自主研究会(決算について、地方分権)
- 10 環境保全審議会
- 12 緑ヶ丘小ふれあい給食開所式
- 13 調布市消費者祭り
- 18 市民文化祭開会式
- 19 調布市商工まつり
- 20 北ノ台小道徳公開授業
神代植物園バラ園コンサート
- 23-25 文教委員会視察(瀬戸、西宮、宝塚)
- 28 北ノ台小地域運動会
- 30 市議会だより委員会
- 31-11/2 全国都市問題会議(宮崎市)
- 11月 6 市政功労者表彰式
- 9 平和祈念祭
- 9-10 市川房枝記念政治参画セミナー
- 10-11 地方議員行財政自主研究会
東京近郊小海町人会
- 12 幹事長会
- 13 元気派ミーティング
- 17 国際公会計学会研究報告会
- 19 都市整備連絡調整協議会
- 20 都市計画審議会傍聴
- 26 地下共同溝見学
- 29 幹事長会
- 30 環境保全審議会
- 12月 5 幹事長会・議会運営委員会
- 7-19 12月議会開会
- 15 環境施設帯整備検討協議会ワーク
ショップ(武蔵境通りについて)

冬は温かいものが欲しい季節です。娘に誘われて有名な調布のラーメン屋さんへ。女性一人でがんばっているお店で、名物のラーメンは売り切れで普通の味を注文、でも美味しかった。(みとこ)

元気派市民とみとこの会 2001 年度収支報告

日頃の皆様のご支援に感謝申し上げます。2001年度も会報の発行、学習会開催等致しました。今期は前年度に比べ、会費・寄付収入が減少し(不況の影響でしょうか)また故障によるパソコン・FAX機の購入等支出が増加したため、収支が大幅なマイナスとなりました。このマイナスは、選挙政治資金管理団体に積み立てておいた資金から補填します。政治資金管理団体には、不測の事態や選挙資金のために、大河議員の報酬の一部を積み立てています。

「市民が主役のまちづくり」をさらに前進させるためには皆様からの会費とご寄付が大きな力となります。今後とも一層のご支援をよろしくお願い致します。

元気派市民とみとこの会の2001年決算

収 入		支 出	
会費	194,000	会報発行費	1,399,710
寄付 1	1,986,000	事業費(学習会等)	164,262
バザー他	305,189	備品消耗品	458,573
寄付 2	150,000	人件費	407,000
		事務所費	936,226
		その他経費	8,950
当期収入合計	2,635,189	当期支出合計	3,374,721
収 入			-739,532

< 注記 >

会費：194口

寄付 1：会員および賛同者からの寄付と大河議員からの寄付150万円

寄付 2：学習会費用等に議員報酬値上げ分を充当(政治資金管理団体を通して)

バザー：3回開催

会報発行：年4回発行

学習会：年3回、講師を招いて開催

議会報告会：4回

伝言板

ちよっとみみよりな
次の議会は三月六日頃からの予定です。大河みとこは代表質問を行います。是非傍聴に行きましょう。詳しくは議会事務局にお問い合わせ下さい。(TEL 0424-81-7291)



伝言コーナー

ガレッジバザー

三月三日(日)十一時から十五時
雨天の場合は三月四日(月)深大寺元町三の三十九の十二梅原宅(たるま市の日です。深大寺入口 昆布屋さんの裏です。)

みみチャンネルをお近くの方に配っていただけの方を募集しています。事務所までご連絡下さい。TEL0424-88-4137

Eメール genki@atops.dti.ne.jp

元気派市民とみとこの会の事務所は毎週月・火・木・金の10時から16時まで開いています。お見えになる方は予めお電話ください。

編集後記

時を待つ白木蓮の凛として背筋のばして見つめるは我(ちえみ)何はせずとも新年はやってくる。子ども達に胸の張れる大人になっているかしら。(ちはる)若年性健忘症か…。(まさこ)冬空が好きです。月に星、深く青い空を眺める時、心洗われ癒されます。(みとこ)

連絡先：元気派市民とみとこの会

〒182-0011 調布市深大寺北町

TEL/FAX 0424(88)4137

元気派市民とみとこの会 会員大募集!

当会は市民による調布のまちづくりを目指して活動しています。

みなさんも当会に入会して、これからもずっと住み続けたいまち・調布にしていきましょう。



会費(年)一口1,000円

何口でも結構です!

会費及びカンパは郵便振替にても受け付けております。

口座番号 00180-5-577951

加入者名「元気派市民とみとこの会」

「みみちゃん札」購読のみ希望の方も事務所までご連絡ください。

次の活動を行います

- 1 懇談会、講演会の開催
- 2 会報、パンフレットの発行
- 3 その他